

5 ソルガム

(1) 国際的なソルガム需給の概要

○2009/10年度のソルガム需給（予測）のポイント

ソルガムの供給面では、アルゼンチン、インド、ナイジェリア等で増加するものの、米国で減少することから世界の生産量は減少が見込まれている。

需要面では、インド、ナイジェリア、メキシコ等で増加するが、米国で減少することから、世界の消費量は減少が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を下回ることから減少し、期末在庫率は低下すると見込まれている。

【生産量】

生産量は、アルゼンチン、インド、ナイジェリア等で増加するものの、米国で減少することから世界全体では前年度より0.1百万トン減少（▲0.3%）し、64.0百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体でわずかに上方修正されており、国別には、米国でわずかに上方修正された。

【消費量】

消費量は、インド、ナイジェリア、メキシコ等で増加するものの、米国で減少することから、世界全体では前年度並の64.2百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度並の5.9百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では豪州で輸出量が減少するものの、アルゼンチン、ブラジル等で増加が見込まれている。一方、輸入国では、日本、EUで輸入量が減少するものの、メキシコで増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【期末在庫量】

期末在庫量は、消費量が生産量を上回ることから世界全体では前年度より減少（6.3%）し、4.3百万トンとなり、期末在庫率は6.6%（0.5ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体でわずかに下方修正されており、国別には米国でわずかに上方修正された。

表－1 世界のソルガム需給

(単位:百万トン)

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	65.6	64.1	64.0	0.0	▲ 0.3
ナイジェリア	10.0	11.0	11.5	-	▲ 4.5
米国	12.6	12.0	9.2	0.0	▲ 23.0
インド	7.9	7.2	8.0	-	10.5
メキシコ	6.2	6.3	6.4	-	1.6
スーダン	4.5	4.7	4.7	-	0.0
アルゼンチン	2.9	1.7	3.3	-	98.8
エチオピア	2.7	2.6	2.6	-	▲ 0.7
消費量	65.4	64.2	64.2	0.1	0.1
うち飼料用	29.4	25.8	24.8	0.1	▲ 3.9
ナイジェリア	10.0	11.0	11.5	-	4.6
メキシコ	7.2	8.6	9.1	-	5.8
インド	7.9	7.2	8.0	-	11.1
米国	5.1	8.3	5.8	-	▲ 29.7
スーダン	5.0	5.0	5.0	-	0.0
エチオピア	2.6	2.7	2.7	-	0.0
EU-27	6.3	0.9	0.9	-	0.0
貿易量	9.8	5.9	5.9	-	0.2
(輸出)					
米国	7.0	3.6	3.6	-	▲ 2.4
アルゼンチン	1.2	0.9	1.0	-	11.1
豪州	0.8	1.1	1.0	-	▲ 9.1
ブラジル	0.1	0.0	0.1	-	300.0
中国	0.2	0.0	0.1	-	56.3
ナイジェリア	0.1	0.1	0.1	-	0.0
インド	0.1	0.1	0.0	-	▲ 50.0
(輸入)					
メキシコ	1.2	2.5	2.6	-	4.0
日本	1.1	1.6	1.5	-	▲ 7.9
EU-27	5.8	0.4	0.3	-	▲ 30.4
スーダン	0.3	0.3	0.3	-	0.0
チリ	0.4	0.4	0.4	-	0.0
イスラエル	0.1	0.1	0.1	-	0.0
ニジェール	0.1	0.1	0.1	-	0.0
期末在庫量	4.6	4.5	4.3	▲ 0.1	▲ 6.3
米国	1.3	1.4	1.2	0.0	▲ 11.4
メキシコ	0.4	0.6	0.5	-	▲ 17.5
スーダン	0.6	0.5	0.4	-	▲ 18.3
ナイジェリア	0.2	0.2	0.2	-	0.0
エチオピア	0.2	0.2	0.2	-	0.0
インド	0.2	0.2	0.2	-	▲ 14.1
アルゼンチン	0.2	0.1	0.7	-	571.4
期末在庫率	7.0%	7.1%	6.6%	▲ 0.1	▲ 0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

(2) ソルガムの主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、単収および収穫面積が減少することが見込まれていることから前年度より2.8百万トン減少（▲23.0%）し、9.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の減少に加え、エタノール原料用需要も減少が見込まれることから前年度より2.5百万トン減少（▲29.7%）し、5.8百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度並の3.6百万トンとなる見込みである。

この結果、生産量が消費量と輸出量の計を下回ることから期末在庫量は前年度を0.2百万トン下回る1.2百万トンとなり、期末在庫率は13.1%（1.5ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量がわずかに上方修正された。この結果、期末在庫量はわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国のソルガムの主要11州は、収穫が終盤を迎えているが、11月22日現在で収穫率は75%で平年より15ポイント、前年より8ポイント遅れている。

作柄については、11月8日現在で、優良～良が48%と、前年度の最終（53%）を下回っている。

（我が国の輸入先国シェア1位（2008年数量ベース 46.5%）
世界の生産量シェア 2位（2009/10年度 14.5%）
輸出量シェア 1位（2009/10年度 59.8%）

表－2 米国のソルガム需給（市場年度：9月～翌年8月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	12.6	12.0	9.2	0.0	▲ 23.0
消費量	5.1	8.3	5.8	-	▲ 29.7
うち飼料用	4.2	5.9	3.6	-	▲ 39.7
輸出量	7.0	3.6	3.6	-	▲ 2.4
輸入量	0.0	0.0	0.0	-	▲ 100.0
期末在庫量	1.3	1.4	1.2	0.0	▲ 11.4
期末在庫率	11.1%	11.6%	13.1%	0.0	1.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.75	2.94	2.30	-	▲ 21.8
単収(t/ha)	4.60	4.08	4.02	-	▲ 1.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

○ 米国ソルガムの生育進捗状況及び作柄（11月22日現在）
〔生育進捗状況〕

収穫率 75%（平年差：▲15 p、前年差：▲8 p）

〔作柄〕（11月8日現在）

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
ソルガム	2009/10	10	38	31	10	11
	前年度同時期	-	-	-	-	-
	前年度最終	9	44	33	11	3

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」

注1：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

注2：11月8日の作柄の公表値に前年度同時期のデータは含まれていない。

イ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、前年度の干ばつの影響により、作付けが見送られたり収穫不能となって減少した収穫面積が2007/08年度と同水準まで回復すること、主要生産地域で低下した単収が回復すると見込まれることから、前年度より1.6百万トン増加（98.8%）し、3.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の増加から前年度より0.8百万トン増加（100.0%）し、1.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より0.1百万トン増加（11.1%）し、1.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.6百万トン増加し（571.4%）、0.6百万トンとなり、期末在庫率は26.1%（20.1ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度の作付けは、10月にブエノスアイレス州等で開始され、降雨による遅れもあったが、11月下旬に概ね終了した。

ウ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積が減少することから前年度より0.1百万トン減少（▲5.6%）し、1.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン増加（2.5%）し、2.1百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より56.3%増の0.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.4百万トン減少し、0.0百万トンとなり、期末在庫率も1.6%（19.0ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2008/09年度の輸入量がわずかに上方修正されたため、2009/10年度の期首在庫量がわずかに上方修正された。この結果、2009/10年度の期末在庫量はわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国のソルガムのは収穫が概ね終了したが、主産地の東北地区で、7月末以降の高温乾燥による単収の減少懸念がある。

【貿易情報】

中国については、2007年12月に増値税の輸出還付を取り消し、2008年1月から輸出税を課していたが、12月1日からは、ソルガムの輸出税は撤廃されている。

（世界の輸出品シェア 2位（2009/10年度 16.8%））

表-3 アルゼンチンのソルガム需給
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10			
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	2.9	1.7	3.3 (3.3)	-	98.8	
消費量	1.7	0.9	1.7 (2.6)	-	100.0	
うち飼料用	1.5	0.7	1.5 (2.3)	-	130.8	
輸出量	1.2	0.9	1.0 (0.7)	-	11.1	
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...	
期末在庫量	0.2	0.1	0.7 (0.1)	-	571.4	
期末在庫率	6.7%	6.0%	26.1% (1.5%)	-	20.1	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	0.62	0.45	0.70 (...)	-	55.6	
単収(t/ha)	4.74	3.69	4.71 (...)	-	27.6	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
IGC「Grain Market Report (29 October 2009)」

我が国の輸入先国シェア3位（2008年数量ベース 10.3%）
世界の輸出品シェア 6位（2009/10年度 0.8%）

表-4 中国のソルガム需給（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10			
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	1.9	1.8	1.7 (1.8)	-	▲ 5.6	
消費量	2.0	2.0	2.1 (...)	-	2.5	
うち飼料用	0.1	0.1	0.1 (...)	-	▲ 50.0	
輸出量	0.2	0.0	0.1 (0.1)	-	56.3	
輸入量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	...	
期末在庫量	0.6	0.4	0.0 (...)	0.0	▲ 91.9	
期末在庫率	28.7%	20.6%	1.6% (...)	0.3	▲ 19.0	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	0.50	0.45	0.43 (...)	-	▲ 4.4	
単収(t/ha)	3.84	4.00	3.98 (...)	-	▲ 0.5	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
IGC「Grain Market Report (29 October 2009)」

エ 豪州

【需給状況】

豪州の生産量は、単収および収穫面積が減少すると見込まれることから、前年度より0.4百万トン減少（▲16.7%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の減少から前年度より0.3百万トン減少（▲19.9%）し、1.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.1百万トン減少（▲9.1%）し、1.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.1百万トンとなり、期末在庫率も5.6%（0.6ポイント増）と上昇すると見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度の作付けは、ニューサウスウェールズ州の一部地区等で降雨があったほ場から作付けが開始されているが、今後の天候に留意する必要がある。

（我が国の輸入先国シェア2位（2008年数量ベース 35.4%）
世界の輸出品シェア 2位（2009/10年度 16.8%）

表－5 豪州のソルガム需給

（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.1	2.4	2.0 (1.9)	-	▲ 16.7
消費量	2.2	1.3	1.0 (0.8)	-	▲ 19.9
うち飼料用	2.2	1.3	1.0 (0.8)	-	▲ 20.0
輸出量	0.8	1.1	1.0 (1.1)	-	▲ 9.1
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.1	0.1	0.1 (…)	-	▲ 4.2
期末在庫率	2.4%	5.0%	5.6% (…)	-	0.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.03	0.80	0.68 (0.66)	-	▲ 15.0
単収(t/ha)	2.99	3.00	2.94 (2.80)	-	▲ 2.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」

ABARE「Australian crop report (15 September 2009)」(※ABAREは作付面積)

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、単収が減少するものの、モンスーンの到来の遅れによる米からソルガムへ作付転換により収穫面積の増加が見込まれることから、前年度より0.8百万トン増加（10.5%）し、8.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、米の減産による食料用需要の増加に伴い、前年度より0.8百万トン増加（11.1%）し、8.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.2百万トンとなり、期末在庫率は1.9%（0.5ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度のカリフ期（雨期）のソルガムは、6月から作付けが開始され、11月中旬時点で概ね収穫が終了した。

2010/11年度のラビ期（乾期）のソルガムの作付けが開始され、11月に入り最盛期を迎えている。

（世界の生産量シェア3位（2009/10年度 12.5%）

表－6 インドのソルガム需給（市場年度：11月～翌年10月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.9	7.2	8.0 (8.0)	-	10.5
消費量	7.9	7.2	8.0 (…)	-	11.1
うち飼料用	1.5	1.2	1.5 (…)	-	25.0
輸出量	0.1	0.1	0.0 (…)	-	▲ 50.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (…)	-	▲ 14.1
期末在庫率	2.3%	2.4%	1.9% (…)	-	▲ 0.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.93	7.50	8.80 (…)	-	17.3
単収(t/ha)	1.00	0.97	0.91 (…)	-	▲ 6.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」
IGC「Grain Market Report (29 October 2009)」